

食品安全委員会の運営について（令和3年7月から令和3年9月まで）

1. 食品安全委員会の開催

7月：823回・824回・825回・826回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（12品目）

食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質（1品目）	・アブシシン酸
農薬（6品目）	・アフィドピロペン ・スルホキサフロル ・テトラニリプロール ・フルアジナム ・フロラスラム ・ペンチオピラド
遺伝子組換え食品等（5品目）	・JPBL008株を利用して生産された α -アミラーゼ ・JPBL009株を利用して生産された α -アミラーゼ ・JPBL010株を利用して生産された α -アミラーゼ ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統（食品） ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統（飼料）

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（3品目）

農薬（2品目）	・シアントラニリプロール <u>ADIを0.0096 mg/kg体重/日と設定し、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。</u> ・1-ナフタレン酢酸 <u>ADIを0.15 mg/kg 体重/日、ARfDを0.15 mg/kg 体重と設定。</u>
農薬及び動物用医薬品（1品目）	・エトキサゾール <u>ADIを0.04 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断した。</u>

（3）その他

「食品安全委員会の運営について（令和3年4月～6月）」を報告

8月：第827回・828回・829回・830回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（7品目）

添加物（1品目）	・L-酒石酸カルシウム
農薬（5品目）	・ピコキシストロビン ・エトフェンプロックス ・グルホシネート

	<ul style="list-style-type: none"> ・テトラコナゾール ・フロメトキン
飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・L-イソロイシン

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件（14品目）

農薬（5品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンピロキシメート <u>ADIを0.0097 mg/kg体重/日、ARfDを0.015 mg/kg体重と設定。</u> ・メトミノストロビン <u>ADIを0.016 mg/kg体重/日、ARfDを0.78 mg/kg体重と設定。</u> ・ピコキシストロビン <u>食品安全基本法第11条第1項第2号に規定する食品健康影響の程度は明らかに該当すると認められる。</u> ・スルホキサフロル <u>ADIを0.042 mg/kg体重/日、ARfDを0.25 mg/kg体重と設定。</u> ・フルアジナム <u>ADIを0.01 mg/kg体重/日と設定し、一般の集団に対するARfDを0.5 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.02 mg/kg体重と設定。</u>
農薬及び動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルメトリン <u>ADIを0.05 mg/kg 体重/日、ARfDを0.5 mg/kg 体重と設定。</u>
動物用医薬品（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・クマホス <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理措置が採られている限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u> ・アンピシリン ・フェノキシメチルペニシリン <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u>
遺伝子組換え食品等（5品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性カラシナRF3 <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断した。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ pPDX株を利用して生産されたホスホリパーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」の第1章総則第3に規定する「組換え体と同等の遺伝子構成を持つ生細胞が自然界に存在する場合」に該当する微生物を利用して製造されたものであることから、安全性評価は必要ないと判断した。</u> ・ DSM32805株を利用して生産されたキモシン ・ JPAN006株を利用して生産されたリパーゼ ・ JPAo003株を利用して生産されたリパーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断した。</u>
--	--

(3) その他

- ・「令和3年度食品健康影響評価技術研究追加公募課題（案）」を決定
- ・「食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題（令和4年度）（案）について」を決定

9月：第831回・832回・833回（3回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（3品目）

動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベルメクチン及びプラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤（エクイバランゴールド）
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統（食品） ・ 除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統（飼料）

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等（4品目）

農薬（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ テトラニプロール <u>ADIを0.88 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・ ペンチオピラド <u>ADIを0.081 mg/kg体重/日、ARfDを1.2 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベルメクチン及びプラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤（エクイバランゴールド） <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u> ・ ルバベグロン <u>ADIを3.2 μg/kg 体重/日と設定。</u>

(3) その他

- ・令和2年度終了食品健康影響評価技術研究課題の事後評価結果を決定
- ・「添加物に関する食品健康影響評価指針（案）」、「添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（案）」、「栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（案）」及び「香料に関する食品健康影響評価指針（案）」を決定

2. 専門調査会等の運営（全21回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
農薬第一	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 ・「残留農薬の食品健康影響評価における公表文献の取扱いについて」の改正について
農薬第二	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 ・フェンピロキシメート ・アフィドピロペン
農薬第三	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・アブシシン酸 ・エトフェンプロックス
農薬第五	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・フロラスラム(9/8)
動物用医薬品	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ニタルゾン ・ポジ剤スキーム3（3）の評価の進め方 ・オルトジクロロベンゼン ・ジブチルサクシネート
微生物・ウイルス	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物評価指針改訂の検討
遺伝子組換え食品等	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・JPAo007株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ ・JPAo008株を利用して生産されたアミノペプチダーゼ ・収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP202216)（食品・飼料） ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統（食品・飼料） ・JPBL008株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・JPBL009株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・JPBL010株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統（食品・飼料） ・MAM株を利用して生産されたα-アミラーゼ
肥料・飼料等	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」における3（3）の評価の進め方について ・L-イソロイシン
栄養成分関連添加物ワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・25-ヒドロキシコレカルシフェロール
薬剤耐性菌ワーキンググループ	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指針改訂の検討、重要度ランク改訂の検討 ・評価指針改訂の検討、重要度ランク改訂の検討
ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・L-酒石酸カルシウム、フェロシアン化カリウム ・L-酒石酸カルシウム

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体	主な対象者
9/30	web開催	リスクコミュニケーション (テーマ：知って防ごう食中毒)	沖縄県	高校生（沖縄県立美里工業高校）

(2) 講師派遣（全2回、うち委員2回）

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
8/28	web開催	第58回獣医疫学会学術集会シンポジウム (テーマ：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル -鶏肉等における <i>Campylobacter jejuni/coli-</i>) *山本委員長	獣医疫学会	学会員
9/24	web開催	第14回日本カンピロバクター研究会総会 (テーマ：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル) *山本委員長	日本カンピロバクター研究会	会員

※ 訪問学習及び講座なし。

4. 情報提供

Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 7月：16記事

閲覧数（Facebook）約26,513件/月、（ブログ）約1,896件/月

投稿日	記事内容
1	食品安全委員会の委員の就任・再任について 広報誌「食品安全」第58号&食品安全委員会パンフレットを公表しました

2	食品のリスク評価を行う案件を募集します
	食品安全委員会 山本新委員長メッセージ
	【食品安全委員会 今週の公表事項 0628-0702】
5	食品安全委員会（第823回）に井上大臣が出席しました
7	大雨被害と食中毒の注意について
9	【食品安全委員会 今週の公表事項 0705-0709】
12	令和3年度調査事業の公募（3課題）について
15	【食中毒予防と加熱調理の動画を公開しました】
16	【食品安全委員会 今週の公表事項 0712-0716】
19	【キッズボックス】農薬について知ろう その1（2021年7月号）
26	【食品安全委員会 0719-0723の公表事項】
28	報道関係者との意見交換会を開催しました（7月27日）
30	【編集後記：文月】8月18・19日は子ども霞ヶ関見学デーです！
	【食品安全委員会 今週の公表事項 0726～0730】

■ 8月：15記事

閲覧数（Facebook）約21,992件/月、（ブログ）約1,733件/月

投稿日	記事内容
3	【エコバッグは定期的に洗おう！】
6	【食品安全委員会 今週の公表事項 0802-0806】
10	夏もおいしく安全に食べよう① ヘチマには毒がある！？
11	8月18・19日はこども霞ヶ関見学デーです！～見どころ①おすすめ動画あります！～
13	【食品安全委員会 今週の公表事項 0810-0813】
17	8月18・19日はこども霞ヶ関見学デーです！～見どころ②クイズコーナー プレゼントもあります！～

18	こども霞が関見学デー がはじまりました！
	こども霞が関見学デー 開催中です！
19	こども霞が関見学デー 2日目がはじまりました！
	こども霞が関見学デーありがとうございました！
20	【食品安全委員会 今週の公表事項 0816～0820】
23	夏もおいしく安全に食べよう② モロヘイヤの種には毒性がある！
27	【大学、試験研究機関等に属する研究者の方向けのお知らせ】令和3 年度研究事業の追加公募を開始しました（募集締切：令和3 年9 月17 日（金）17:00）
	【食品安全委員会 今週の公表事項 0823-0827】
31	【編集後記：葉月】こども霞が関見学デー特設ページ あらためて御礼！

■ 9月：20記事

閲覧数（Facebook）約79,542件/月、（ブログ）約1,323件/月

投稿日	記事内容
1	【キッズボックス】金属製の水筒の使い方に注意！（2021年8月号）
	鶏肉は加熱して食べましょう！
2	【講演レポート】第58 回獣医疫学会学術集会シンポジウムで山本委員長が講演しました
3	【食品安全委員会 今週の公表事項 0830-0903】
6	Webサイト豆知識 ～キッズボックスページに動画ギャラリーがお引っ越し！～
7	本日開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
8	【食の安全ダイヤルQ&A をリニューアルしました！】
10	BSE発生から20年を迎えます
	【食品安全委員会 今週の公表事項 0906-0910】
15	昨日開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
17	【キッズボックス】農薬について知ろう（2021年9月号）

	<p>【大学、試験研究機関等に属する研究者の方向けのお知らせ】令和4年度研究事業の課題公募（募集締切：令和3年10月21日（木）17:00）</p> <p>【食品安全委員会 今週の公表事項 0913～0917】</p>
21	【第2回報道関係者との意見交換会を開催しました（9月17日）】
22	毒のあるキノコに注意！
24	<p>食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety -The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 9, No.3 を公開しました。</p> <p>Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan Volume 9, Number 3 has just been published</p> <p>【食品安全委員会 今週の公表事項 0921～0924】</p>
30	<p>【食品安全セミナー（オンライン）の参加者を募集します】</p> <p>【編集後記：長月】食品安全委員会のトップページのデザインを変更し、情報マップのページを作成しました</p>

YouTube

食品の安全性に関する科学的な知識の普及啓発や、その他食品の安全に関する情報についての動画による情報発信

（7～9月に公開した動画の合計視聴回数 2,724回、チャンネル登録者数 468人）

公開月日	記事内容	視聴回数 (公開日～現在)
7月15日	食中毒予防と加熱調理（鶏肉編）	1822回
7月15日	食中毒予防と加熱調理（ひき肉編）	902回

食品健康影響評価の審議状況

2021/10/1

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和3年度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和3年 度分	評価終了 注5)
添加物	299	3	3	1	295		
栄養成分添加物	2		1		1		
香料	7				7		
農薬	1303	20	143	3	1157	37	
うちポジティブリスト関係	543		132	1	410	6	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		17		42	2	
動物用医薬品	637	5	19	2	616	10	3
うちポジティブリスト関係	137		19	2	116	2	
器具・容器包装	22		2		20	1	
汚染物質等	67				67	1	4
うち清涼飲料水	52				52	1	
微生物・ウイルス	21				21		2
プリオン	67		8		59		14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	359	12	28	1	330	18	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	312	2	39	3	270	11	
うちポジティブリスト関係	143		33	3	107	6	
薬剤耐性菌	69		8		61	3	2
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルギーを含む食品に関するWG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		2
合計	3271	42	251	10	3010	81	36

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2021年9月30日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルフォアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	3
2004/10/29	農	動物用医薬品 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）[肥][耐]、動物用医薬品 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）[耐]	3
2005/2/14	厚	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）[肥]、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用））[耐]	2
2005/9/13	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール[肥]、	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール☆[肥]	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆、	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/15	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン、スルフイソゾール	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/6	厚	動物用医薬品 イソシンコメロン酸ニプロピル☆	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品 スルファチアゾール☆[肥]、スルファジメトキシ☆[肥]、スルファモメトキシ☆[肥]	3
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/8/28	厚	動物用医薬品 ジクロキサシリン☆[肥]	1
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン<一部>☆	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロ、ピリデート、フッ化スルフリル	4
2008/6/3	厚	動物用医薬品 トビシリン[肥]	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	厚	器具・容器包装 カドミウム	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆、フェナミホス☆	2
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	動物用医薬品 クロキサシリン☆[肥]	1
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆[肥]、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]、β-カロテン☆[肥]、クエン酸☆[肥]、酒石酸☆[肥]、トウガラシ色素☆[肥]、乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]、マリーゴールド色素☆[肥]、メナジオン☆[肥]、レチノール☆[肥]	11
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆〈一部〈飼〉〉	3
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/1/24	厚	動物用医薬品 セフロキシム☆[肥]	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルフアン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、プロモキシニル☆	3
2011/3/25	厚	動物用医薬品 ジミナゼン☆	1
2011/4/19	厚	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTG☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	11
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し(オランダ)	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	厚	動物用医薬品 スルファジミジン☆[肥]	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダ	12
2013/3/12	農	農薬 ピリミホスメチル☆	1
2013/4/2	厚	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、パラコート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	4
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、パラコート☆、フルキンコナゾール☆	7
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニユロン☆	8
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2013/12/10	厚	動物用医薬品 ナイカルバジン☆[肥]	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/1/8	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IPI05B-1）（食品）■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IPI05B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/1/10	厚	添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2019/2/27	農	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■[耐]	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2020/2/13	厚	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 オルトジクロロベンゼン☆、グリカルピラミド☆、クロステボル☆、ジブチルサクシネート☆、チオプロニン☆、トリブロムサラン☆、ノルジェストメット☆、ヒドロコルチゾン☆、マホプラジン☆	9
2020/3/17	厚	飼料添加物 オルメトプリム☆、ジアベリジン☆、スルファクロールピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダブソン☆、プリメタミン☆アンプロリウム☆、エトパベート☆、スルファキノキサリン☆、エンラマイシン☆、	11
2020/5/13	厚	プリオン 「ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」※	1
2020/9/24	厚	Ra α 3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2020/9/24	厚	RG-V1株を利用して生産されたL-バリン■	1
2020/10/16	農	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）■、	1
2020/10/19	厚	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）■	1
2020/11/20	厚	遺伝子組換え食品等 MAM株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	1
2021/1/7	厚	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）■、収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）（食品）■	2
2021/1/12	農	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）■、収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）（飼料）■	2
2021/2/9	厚	動物用医薬品・飼料添加物 ナイカルバジン■	1
2021/2/4	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）■	1
2021/2/9	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）■	1
2021/3/18	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN009株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2021/4/22	厚	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NT104 (pHYT2TD) 株を利用して生産された α -グルコシルトランスフェラーゼ■	1
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ (NS-B50027-4) (飼料)■、DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ (NS-B50027-4) (食品)■、JPAo007株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ■、JPAo008株を利用して生産されたアミノペプチダーゼ■	4
2021/5/26	厚	添加物 フェロシアン化カリウム	1
2021/6/30	厚	対象外物質 アブシシン酸	1
2021/6/30	厚	農薬 アフィドピロペン■、フロラスラム■	2
2021/7/14	厚	遺伝子組換え食品等 JPBL008株を利用して生産された α -アミラーゼ■、JPBL009株を利用して生産された α -アミラーゼ■、JPBL010株を利用して生産された α -アミラーゼ■、チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統(食品)■	4
2021/7/13	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統(飼料)■	1
2021/7/27	厚	添加物 L-酒石酸カルシウム■	1
2021/8/10	農	飼料添加物 L-イソロイシン■	1
2021/8/17	厚	遺伝子組換え食品等 除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統(食品)■	1
2021/8/25	厚	農薬 エトフェンプロックス■、グルホシネート■、テトラコナゾール■、フロメトキン■	4
2021/8/30	農	遺伝子組換え食品等 除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統(飼料)■	1

(注)

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である(平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ)。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2021/8/4～2021/9/2	★農薬 ペンシクロン■	1
2021/8/18～2021/9/16	★添加物 炭酸水素カリウムー	1
2021/8/25～2021/9/23	★肥料・飼料等 カルバドックス☆、ニフルスチレン酸ナトリウム☆、ロキサルソン☆	3
2021/8/25～2021/9/23	★遺伝子組換え食品等 LFS 株を利用して生産されたリパーゼ■	1
2021/9/1～2021/9/30	★農薬 イプロジオン■、イプロジオン☆	2
2021/9/1～2021/9/30	★動物用医薬品 塩化ジデシルジメチルアンモニウム☆	1
2021/9/29～2021/10/27	動物用医薬品 ニタルソン☆	1

(注)

★は案件については意見募集は終了している。

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2021/4/13	農	薬剤耐性菌 亜鉛バシトラシン（薬剤耐性菌）※	1
2021/4/13	厚	遺伝子組換え食品等 JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2021/4/13	厚	農薬 ペンディメタリン■、ペンディメタリン（飼料中）■	2
2021/4/27	厚	動物用医薬品 アルベンダゾール■	1
2021/4/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ■、JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ■、JPBL004株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、JPBL005株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	4
2021/5/11	厚	肥料・飼料等 ハロフジノン☆、マデュラマイシン☆、ロベニジン☆	3
2021/5/18	厚	農薬カズサホス■、クレトジム■、フェナザキン■	3
2021/5/25	厚	農薬 ウニコナゾールP■、プロフラニリド■	2
2021/5/25	厚	食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のゲンチアナバイオレット試験法及び酢酸トレンボロン試験法の追加	1
2021/6/1	厚	遺伝子組換え食品等 Morph TG#626株を利用して生産されたα-グルコシダーゼ■、JPTR003株を利用して生産されたムラミダーゼ■、JPAN003株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■、JPAN007株を利用して生産されたヘミセルラーゼ■、BML780 MDT06-221株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	5
2021/6/8	農	農薬 シフルトリン（飼料中）☆	1
2021/6/8	厚	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン☆	2
2021/6/8	厚	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン	1
2021/6/8	厚	農薬 ポリオキシシン（ポリオキシシンD亜鉛塩及びポリオキシシン複合体）■〈一部☆〉、プロパルギット■	3
2021/6/8	農	動物用医薬品 アルベンダゾールを有効成分とするすずき目魚類の飼料添加剤（スポチール100）■、エトキサゾールを有効成分とする牛の皮膚投与剤（ダニレス）■、性腺刺激ホルモン放出ホルモン・ジフテリアトキソイド結合物を有効成分とする豚の注射剤（インプロバック）■	3
2021/6/15	厚	農薬 オキサチアピプロリン■、ピリベンカルブ■、ベンチアバリカルブイソプロピル■	3
2021/6/15	厚	農薬及び動物用医薬品 スピノサド■	1
2021/6/15	農	動物用医薬品 プラジクアンテルを有効成分とするくろまぐろを含むすずき目魚類用飼料添加剤（水産用ベネサル、ハダクリーン）■	1
2021/6/15	農	飼料添加物の試験法改正	1
2021/6/22	農	薬剤耐性菌 スルファキノキサリン※、スルフォンアミド系合成抗菌剤※	2
2021/6/22	厚	農薬 ベンタゾン☆、ベンタゾナー、ベンタゾン（飼料中）☆、フェナリモル☆、ホラムスルフロン■、MCPA■	6
2021/6/22	厚	農薬及び動物用医薬品 はちみつへの農薬・動薬残留基準設定	1
2021/6/22	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN005株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2021/6/22	厚	肥料・飼料等 バシトラシン☆、Trichoderma reesei JPTR003株を用いて生産されたムラミダーゼ濃縮物・精製物を原体とする飼料添加物■、安息香酸■、安息香酸を有効成分とする飼料添加物■	4
2021/6/29	厚	農薬 ピラフルフェンエチル■、フルフェノクスロン■	2
2021/6/29	厚	化学物質・汚染物質 鉛（清涼飲料水）、	1
2021/6/29	厚	器具・容器包装 鉛	1
2021/6/29	厚	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統（食品）■、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統（飼料）■	2
2021/7/28	厚	農薬 1-ナフタレン酢酸■、シアントラニリプロール■	2
2021/7/28	厚	農薬及び動物用医薬品 エトキサゾール■	1
2021/8/4	厚	農薬及び動物用医薬品 ペルメトリン■	1
2021/8/24	厚	農薬 フェンピロキシメート■、メトミノストロビン■	2
2021/8/24	厚	遺伝子組換え食品等 pPDX株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性カラシナRF3■	2
2021/8/31	厚	肥料・飼料等 アンピシリン☆、アンピシリンナトリウム■	2
2021/8/31	厚	動物用医薬品 クマホス☆	1
2021/8/31	厚	肥料・飼料等 フェノキシメチルペニシリン☆	1
2021/8/31	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo003株を利用して生産されたリパーゼ■、DSM32805株を利用して生産されたキモシン■、JPAN006株を利用して生産されたリパーゼ■	3
2021/8/31	厚	農薬 スルホキサフロル■、フルアジナム■、ピコキシストロビン■	3
2021/9/7	厚	農薬 テトラニリプロール■、ペンチオピラド■	2
2021/9/15	農	動物用医薬品 イベルメクチン及びプラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤（エクイバランゴールド）■	1
2021/9/29	厚	動物用医薬品 ルバベグロン■	1

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

IV その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）